

第1学年英語科学習指導案

日 時 平成26年11月7日(金) 5校時

対 象 1年4組 男19名, 女16名 計35名

指導者 三上 智子

1 単元名 PROGRAM 9 A New Year's Visit (開隆堂 Sunshine English Book 1)

2 単元の目標

(英語科の目標)外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

- (1) 進行中の事柄について、現在進行形の肯定文・否定文・疑問文を用いて表現する。
- (2) 進んで英語で表現する。
- (3) 現在進行形の肯定文・否定文・疑問文を理解する。
- (4) 現在進行形を用いた文の構造を理解する。

3 単元の評価規準

観 点	B : おおむね満足できる
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	進んで英語で表現している。
外国語表現の能力	進行中の事柄について、現在進行形の肯定文・否定文・疑問文を用いて表現できる。
外国語理解の能力	現在進行形の肯定文・否定文・疑問文を理解できる。
言語についての 知識・理解	現在進行形を用いた文の構造を理解している。

4 単元について

(1) 生徒について

本学級は男女とも穏やかで、難しい課題にも前向きに取り組もうとするよさがある。生徒個々の学力は高いほうではないが、協力して活動することができる。本単元では、ペア・ワークと学級全体での活動を行い、個人では解決が難しい課題を、表現の違いを楽しみながら集団で乗り越えることを経験させたい。

(2) 教材について

生徒は、これまでの英語学習の中で、be 動詞現在形(Program 2・4)及び一般動詞の現在形(Program 3)と三人称単数現在形(Program 6)について学んできている。

本単元では、既習の主語の人称によって変化する be 動詞と、新出の一般動詞の現在分詞(ing形)を組み合わせて、「現在進行中の動作・行動について述べる」ことをねらいとする。

述部が、be 動詞と一般動詞のどちらか1つであったこれまでの文から、be 動詞+(一般動詞

の) ing 形の 2 つに増え、かつそれぞれ変化することから、生徒の学習に対する負担感が増すことが予想される。現在進行形の個々の場面を絵や具体物、動作化を用いて、生徒の興味・関心を持続しながら、表現意欲へとつなげていきたい。

(3) 指導について

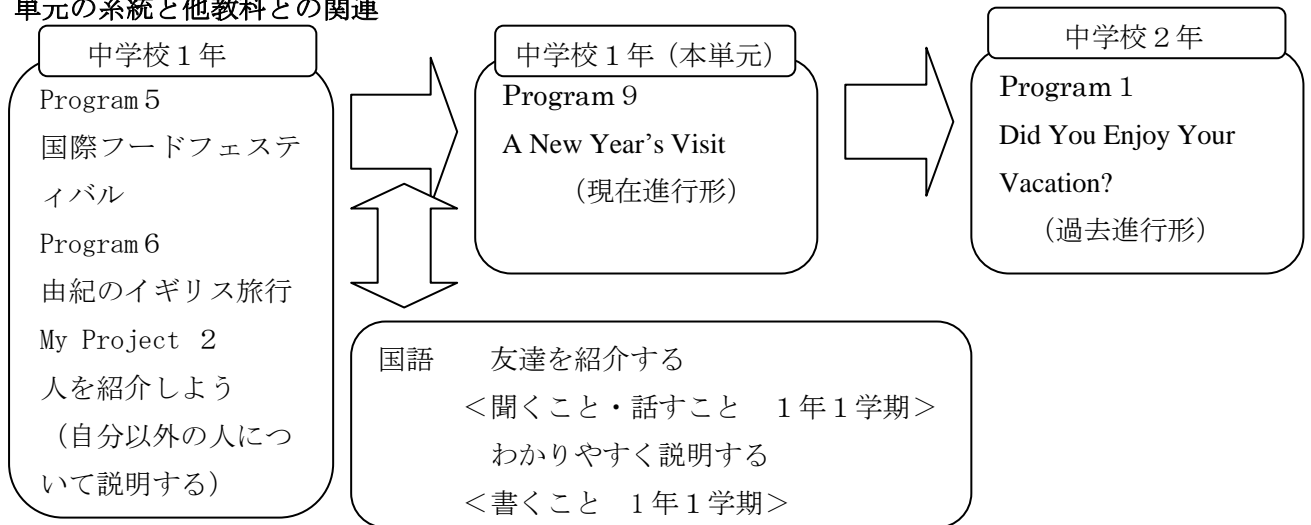
「場のつながり」としては、日本語で発表する際の文末表現（話形）に注意して話させたい。

「教材のつながり」として、本単元は、「人やものを説明すること」として（小学校外国語活動 5 学年 Lesson 2 及び 6 学年 Lesson 7 と中学校 1 学年 Program 5、6 及び My Project 2）の延長線上にある。いわゆる紹介として既習の学習が位置づけられているのに対し、本単元が「今まさい行われていること」である点を強調して指導にあたりたい。

「人のつながり」としては、「自分の考えをもつ」場面として具体的な場面をもとに英文を作る場面を、「互いの考えを交流する」場面として、ペア・ワークや学級での発表を通して、自分以外の人の考えや表現の仕方に触れる場面を、「互いの考えのよさに気づく」場面は、同一の場面についての複数の表現を現在進行形の文の公式に照らし合わせて比較させて、それらの表現の妥当性やおもしろさを言葉で言い表すことを行わせたい。

指導にあたっては、現在進行形の文の公式を暗唱させることを基本として、be 動詞現在形の人称変化と一般動詞 ing 形の発音に留意して指導することにする。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画（8時間扱い）

- (1) 現在進行形肯定文 (p 9 2) 1 時間
- (2) 内容理解 (p 9 3) 1 時間
- (3) 現在進行形 Yes-No 疑問文とその答え方 (p 9 4) 1 時間
- (4) 内容理解 (p 9 5) 1 時間
- (5) 現在進行疑問詞疑問文とその答え方 (p 9 6) 1 時間 (本時 5 / 8 時)
- (6) 内容理解 (p 9 7) 1 時間
- (7) 読み取り Power-up Reading (p 9 8 - 9 9) 1 時間
- (8) 単元のまとめと評価 1 時間

7 本時について

(1) 目標

- ① 進んで英語で表現する。〈関心・意欲・態度〉
- ② 進行中の動作・行動について、現在進行形疑問詞疑問文を用いて会話をする。〈表現〉

(2) 「自分の考えをもつ^自」「互いの考えを交流する^交」「お互いの考えのよさに気づく^気」場面

本時の「自分の考えをもつ」場面は、具体的な場面をもとに自分で英文を作る場面である。「互いの考えを交流する」場面は、ペア・ワークや学級での発表を通して、自分以外の人の考えや表現に触れる場面である。「互いの考えのよさに気づく」場面は、同一の場面についての複数の表現を比較して、それらの表現の妥当性やおもしろさを言葉で言い表す場面である。

(3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点●評価の観点(方法)
導入 10分	1 挨拶と会話練習の Warm-up 及びスピーチを行う。 2 現在進行形 Wh-疑問文の構造を理解する。 3 学習課題を知る。 現在進行形の Wh-疑問文を、会話で使えるようになるろう。		○指導上の留意点●評価の観点(方法) ○挨拶と曜日・日付・天候・時刻の会話をペア・ワークで行い、スピーチをする。 ○現在進行形の文の公式を暗唱させ、現在進行形の Yes-No 疑問文から疑問詞(Wh-)疑問文を導入する。 ・本時は、現在進行形の Wh-疑問文を会話で使えるようになることを知らせる。
展開 35分	4 進行中の動作を話題に What are you doing now?で会話をする。 (1) 話しかける。 A : (外国語を勉強している) B : What are you doing? A : I am studying <u>Korean</u> . B : Why? A : I want to go to <u>Korea</u> . B : (反応する) (2) 質問する。 A : I am doing something. Guess what? B : Are you <u>playing tennis now?</u> A : No, I'm not B : <u>What are you doing now ?</u> A : I am <u>playing badminton now</u> . B : I see.	自	○「話しかけて会話を始める」場面では、未習語の Why?(1年 Program10)と want to(2年 Program 6)を使用する。Why?は、生徒の生活経験でなじみがあることが予想され、want to は小学校で使用経験があり困難が少ないと思われるためである。 ○国名と言語及び反応するときの表現をそれぞれ複数知らせ、選択して使用させ、自分なりの会話を作らせたい。 ●進んで英語で表現している。(発表・観察) ○「質問する」場面では、ペア・ワークで、ジェスチャークイズを行う。身体表現の苦手な生徒の負担を考慮して、小さい動きで済む「食べる」動作から始める。 A : I am doing something. Guess what? B : Are you eating <u>a banana</u> ? A : That's right.

	<p>(3) 注意する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A : (授業中、寝ている) B : What are you doing? A : (あやまる)</p> </div> <p>5 進行中の動作を話題に、What is he(she) doing now?および What are they doing now?で質問する。</p> <p>6 色々な表現を比べて、よい点を話し合う。</p>	<p style="text-align: center;">交</p> <p>○多様な解釈が可能なジェスチャーを工夫させ、What are you doing now?を使う場面としての必然性を高めるとともに、発表を通して、互いの表現から学ばせたい。</p> <p>●進行中の動作・行動について、現在進行形疑問詞疑問文を使って会話できたか。(発表・観察)</p> <p>○What are you doing?には、「話しかけて会話を始める」「質問する」他に「行為を注意する」働きがあることに触れ、言葉の機能の多様さに気づかせていきたい。</p> <p>○次に第三者(単数・複数)の動作・行動を話題に、会話をさせる。ここでは、絵などの視覚資料を用いて、興味関心を持たせるとともに、クイズ・ショーの形態をとり、盛り上げていきたい。</p> <p style="text-align: center;">気</p> <p>○会話の場面ごとに、同一の場面に対する複数の表現を取り上げ、表したい場面と現在進行形の文の公式に照らし合わせて、それらのよさについて話し合わせる。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>7 本時学習のまとめをする。</p> <p>8 本時学習を振り返り、次時の学習内容を 知り、挨拶する。</p>	<p>○教科書 p96 の「おぼえよう」を音読・暗唱させ、本時学習のまとめとする。</p> <p>・授業の評価をし、次時の内容を知らせる。</p>

(4) 板書計画

<p style="text-align: center;">Friday, November 7th, sunny</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>公式 主語+be 動詞+ (一般動詞) ing 形+now.</p> </div> <p>肯定文 You <u>are</u> studying English now. Yes-No 疑問文 <u>Are</u> you studying English now? 答え方 Yes, I am. No, I'm not. I'm watching TV now.</p> <p style="text-align: center;">まとめ</p> <p style="text-align: center;"><何をしているか分からない場合></p> <p>疑問詞 What 「する」do Wh-疑問文 What are you <u>doing</u>? 答え方 I'm watching TV now.</p>	<p>学習課題(p96) 現在進行形の Wh-疑問文を会話で使えるようになる。</p> <p style="text-align: center;">見通し</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What are you doing? で</p> <p>場面1 話しかけて会話を始めよう 場面2 質問しよう 場面3 注意しよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>A : (外国語を勉強している) B : What are you doing? A : I am studying Korean. B : Why? A : I want to go to Korea. B : (反応する)</p> </div>
---	--

